

金の斧 銀の斧を基にした話

嘘つきなきこり

神 ヘルメース

司会者 古館市子

客入れ

舞台上、椅子が3脚

照明 暗転

照明、ゆつくりと明るく

舞台上、嘘つきなきこりが椅子に座っている(下手側)

ヘルメース、上手側に壁を見ながら立っている

微妙な空気

きこり おっさん。

神 …

きこり おっさん。

神 …

きこり おっさんって。

神、振り向く

神 ひょっとして、私のことを、呼んでるのですか。

きこり 当たり前だろ。

他に誰がいるんだよ。

神 私は、おっさんと言う名前ではありませんし、

仮に現在の状況で、おっさんが誰かと言うのであれば、あなたにとって、私が該当するのかもしれませんが、私にしてみれば、あなたもおっさんではありませんか。

きこり …

神 そもそも、その様な呼び方で、誰かを呼ぶこと自体、あなたに問題を感じるのですが。

きこり 今はそうやって偉そうにしてけつとな。

今日は、皆の前で、大恥かかしてやるからな。

神 …

神、何事もなかったように、壁の方を向く

きこり けつ。

古館市子、小走りで登場

古館 お待たせしました。
すみません、遅くなって。

きこり …

神 …

古館 本当に今日は、お二人とも、ご出演頂きありがとうございます。

きこり まあ、お願いします。

神、振り向いて

神 よろしくお願いします。

古館 今日は、お二人に、思いのたけを、テレドを通して、広く皆さんに伝えていただきたい
と思っています。

きこり もちろんです。

神 ええ。私も何か誤解が生じてる様なので、その辺の誤解を、しっかり解決できればなど、
思っています。

きこり 誤解も何もねえだろ。

俺が言ってることは、事実以外の何でもないだろ。

神 …

きこり 答えろよ。

神 …

古館 まあまあまあまあ。

お二人の熱い想いは、番組が始まってからという事で。

どんどん白熱した議論を戦わせてください。

ただ、注意事項として、生放送でお届けすると言うことで、議論が白熱する分には構い
ませんが、放送に相応しくない発言は、控えていただきたいと。

神 もちろんです。

きこり 気をつけます。

古館 それじゃあ、放送の方も、間もなくなので、お二人には一旦、前室で待っていて、
私がお呼びしたら、登場していただくという事で、お願いします。

きこり ちよつと良いかな。

古館 何でしょう。

きこり 気になってるんだけどさ。

古館 何でも言ってください。

きこり 俺の居る場所って、下手、だよな。

古館 え、ああ。

そうですね。

きこり 何で。

古館 いや、特に意味はないですけど。

きこり え、やっぱり、神様は上手で、俺は下手なの。

古館 いや、別に本当に、他意は全然なくて、たまたま、

きこり いやいやいや、あるでしょ。
そう言った暗黙の了解的なぞ。
番組自体が、そいつに付度してんでしょ。

古館 いや、そういうことは、

きこり 別に良いんだけどさ。
視聴者もそういうことを望んでるんだらうし。
上手の上は、上じゃなくて、神様の神なの。

古館 いやいや、本当に、たまたまですよ。
何かに付度する様な番組ではありませんし。

神 私は構いませんよ。
どっちに座ろうが、私が私であることに、変わりはありませんから。
私はただ、生じている誤解が、誤解であると言うことを、述べただけです。

古館 俺もどつちだって良いよ。
俺が言いたいのはさ、
番組サイドが、色々思ってることは、あるのかもしれないけど。
…
そうはならないってこと。
上手、下手。
強者、弱者。
善、悪。
…
思ったようには、ならないよってこと。
そうなったとしても、俺が悪いわけじゃないよって。
…
皆さんが思ってるストーリーにならなくても、俺を責めないでね。ってこと。

神 …

古館 もちろんです。
勘違いしないでいただきたいのですが、
我々は、この番組に対して、一切ストーリーを設けてることはありませんし、
嘘つきなきこりさんだけじゃなく、神ヘルメスさんにとっても、思ったことを言っ
いただき、視聴者を含めた全員に撮って、有意義な時間になることを望んでいます。
その上で、どうしても、嘘つきなきこりさんが、立ち位置を変えたいと言っているのであれば、
何の問題もなく、対応させていただきます。

神 私は何の問題もありませんよ。

きこり …
俺も別に、今のままでも構いませんよ。

確認したかっただけですから。
古館 それじゃあ、このまま本番について、大丈夫ですか。
きこり 大丈夫ですよ。
神 私もです。
古館 ありがとうございます。
それでは、一旦、さがっていただいて、スタンバイの方、お願いします。

きこり、神、退場

古館 それでは、スタッフの皆さん、お願いします。
今日の番組の注目度は、多分、我々が思ってる以上だと思います。
皆頑張って、最高の番組にしましょう。
よろしくお願いします。

古館、周りのスタッフと挨拶を交わす様なマイム
その後、舞台中央に、きっちり立ち、音楽を待つ

音楽
ある程度流れて、ホリユームが落ちる

古館 みなさん、おはようございます。
時刻は、午前3時を回りました。
月曜から早起きの時間となりました。
司会の、古館市子です。
今日もよろしく願いいたします。
今週も、今、世の中を騒がせてる、ゲストをお呼びして、高くない議論をしていただき、その様子を皆さんにお届けしたいと思います。
中々ね、番組の時間帯と、この時間帯にも関わらず、生放送だという影響もありまして、実際問題、いまいちはつとしないゲストしか来ていただけなかったこの番組ですが、今日は、皆さんにも納得してもらえそうな、とびつきのゲストに出演していただけることになりました。
1時間という、短い時間ではありますが、最後まで、寝ずにお付き合いいただければ、なと思っています。
それでは、今日も、よろしくお願いします。

音楽、F.O.

古館 さ、それでは、今日はもう、私の無駄なトークは一切無しに、早速ゲストをお呼びしていきましよう。
実は、先ほど、番組が始まる直前から既に、バチバチと火花が散っていました。

今日の番組が、どんな風になるのか、私自身が一番、楽しみにしているかもしれません。
あ、もう、この味りがいらぬですね。
早速お呼びしましょう。
まずは、この方。
テレビ初登場です。
というか、私の記憶にもありません。
こう言った類いの人がテレビ出演するなんて。
まさに奇跡です。
オリエンボスは神の一人、神々の伝令使。旅人、商人の守護神と言われている。
神、ヘルメースさんです。
どうぞ。

神、ゆつくりと登場

舞台中央にさしかかった時、アメリカの番組の様に、司会が手を差し出し、握手し、

古館 今日はおよろしくお願ひします。
神 お手柔らかに。

司会、椅子の方に、神を促す

5

古館 さあ、そして、今日、この神、ヘルメースさんの対談相手は、
こちらもテレビ初登場です。
今、巷で、神に唾を吐きかける男として、SNSで大炎上中の、そう、あの方、嘘つきな
きこりさんです。
どうぞ。

きこり、登場
神の時と同じように、握手

古館 よろしくお願ひします。
きこり …

司会、きこりを椅子に促す

古館 さあ、両者が相まみえました。
歴史的瞬間です。
この後、一体どんな会話が繰り広げられるのか。
皆さんが、目撃者です。
…

二人 さあ、それでは、あらためまして、今日はよろしく申し上げます。
古館 お願いします。
古館 番組前にも言ったんですけど、生放送です。
神 適切な発言をよろしく申し上げます。
神 もちろんです。
きこり 相手次第かな。
古館 早速、バチバチしてますね。
きこり それでは、まず大丈夫です。
古館 後はもう、こつこつ喋っていきますんで。
神 ヤバいなと思ったら、言ってくれば。
古館 ああ。
神 大丈夫です。
古館 こんな風に仰ってるので、もうそうですね、この先は、お二人にお願いします。
きこり どうぞ。
きこり …
神 …
きこり いや、でも、今日は、本当、出てきてくださって、ありがとうございます。
神 いえいえ。
古館 何かと誤解が生じているらしいので、私にとっても、良い機会だと認識しています。
きこり 今日この場を作ってくれた、皆さまに感謝です。
きこり …
神 それじゃあ、早速なんですけど、良いですか。
きこり 何でも構いませんよ。
神 それじゃあ、ずばつと行きますけど、あなたは、本当に、神なんですか。
古館 難しい質問ですね。
きこり あなたたち、人間は、私たちのことを、神と呼んでくれています。
古館 そう言った観点では、私は、神であるのだと思います。
きこり じゃあ、あなたは、自分のことを何だと思ってるんですか。
古館 私は、私です。
きこり ヘルメースです。
古館 それ以外の何物でもない。
きこり それが私の認識です。
古館 なるほど。
きこり でもまあ、俺は、あなたの超常的なふるまいを見ますから、やはり、あなたは神なんだと、俺自身思ってるところはあります。
古館 超常的なふるまいですか。
きこり ええ。

あなたは俺と会った時のことを覚えていますか。

神 もちろん覚えています。

きこり あなたは、あの時、髪が長かった。

神 そうですね。ロン毛でパーマでした。

きこり そう。

そして、あなたは、水の中から出てきました。

神 はい。

きこり 水の中から出てきましたよね。

神 はい。確かに水の中から出てきましたね。

きこり そうなんだよ。

あなたは、水の中から、ぬつと出てきたのにもかかわらず、
ロン毛のパーマが、まるで濡れていなかった。
普通、ロン毛でパーマが、そのまま水から出てきたら、…ワカメでしょ。

神 ワカメじゃありませんでしたか。

きこり ワカメじゃありませんでしたよ。
自覚してますよね。
ノーワカメでしたよ。
あり得ますか。
水の中から出てきたのにもかかわらず、ノーワカメなんて。
そう、そういう点では、確かにあなたは神ですよ。
そんな、ノーワカメを超常現象と言わず、何を超常現象と言っんですか。

神 ありがとうございます。

まさか、ノーワカメをそこまで言われるとは思いませんでした。

きこり やつぱり狙ってたんですか。
ノーワカメ。

神 狙ってたわけじゃありませんよ。
単に私は、髪が濡れて、顔面に張り付いて、髪なの、鼻毛なの、みたいな状況が好きじやないだけです。

きこり …
おしやれさんですね。

神 紳士でありたいとは思ってます。

きこり …

神 …

きこり そんなあなたが、何故あのようなことをしたんですか。

神 何でしょう。
宗で、散々言っているようですが、私にはまるで心当たりがないのです。
あなたが言う、あのようなこととは、一体何のことでしょう。

きこり 分かりませんか。

神 皆目。

きこり …

神 …

きこり 金の斧と銀の斧ですよ。

神 …

きこり 金の斧と銀の斧だよ。
覚えてるたる。

神 もちろん、覚えています。
なんですか。
あなたは、あの時、金の斧と銀の斧をもらえなかつたことを、まだ根に持つてるのですか。

きこり ふざけんなよ。
今更、そのことは恨んじやいねえよ。

神 じゃあ、あなたは、何故、今更、このようなことを。

きこり 分かりませんか。

神 皆目。

きこり …

神 …

きこり そういう所ですよ。

神 どういう所でしょう。

きこり …
はつきり言つて良いですか。

神 もちろん。

きこり 確かに、あの時、俺は欲に目がくらみました。
金の斧ですよ。
当たり前欲しいでしょ。

神 私は聞きましたよね。
あなたが落とした斧は、これですか。と。

きこり ええ、聞きましたね。

神 そして、あなたは嘘をついた。
それです。と。

きこり 確かに。

神 その後のことは、テレビを見ている人も存知でしょう。
私の何が悪いのでしょうか。

古館 嘘つきなきこりさんは、結局何も残らなかつたって奴ですね。

きこり そう。
俺が全てを失つた時だよ。
確かに、俺は嘘をつきましたよ。悪いことです。

神 あなたは、自分の行為に見合つた結果を招いた。
そうではありませんか。

きこり 確かにそうですね。

神 それでは、今あなたが私に行っていることは、単なる難癖ではありませんか。

きこり 確かにそうかもしれませんね。
でも、俺が言いたいのは、そういうことじゃないんですよ。

神 何でしょう。

きこり じゃあ、言わせていただきます。

神 どうぞ。

きこり ……
何故、あなたはそんなことをしたんですか。

神 何がですか。

きこり 何故あなたは、あの時、あのよう、我々を試す必要があつたのですか。

神 言つてることがわかりませんね。

きこり わかりませんか。

神 はい。

きこり もし斧を水の中に落としたとして、どうなると思いますか。

神 沈みますね。

きこり そう。
当たり前沈みます。

神 それが何か。

きこり あなたがすべきことは、沈んだ斧を引き上げてくれる。それで良いと思いませんか。
何故、試す必要があつたんですか。

神 ……

きこり お前が落とした斧はこれだろう。
ほれ。
それで良かったんじゃないですか。
あなたがしたことは、上から目線の、単なる戯れでしょう。
違いますか。

神 うがった見方ですね。
どうやら、あなたは何も反省していないようだ。

きこり 反省。

神 ええ。
あの事が、少しでもあなたの、人としての成長を促してくれればと思つていましたが、
どうやら逆にあなたを歪めてしまったようだ。

きこり それだよ。
その発言を、当たり前だと思つてること自体がおかしいと言つてるんだよ。

神 ……

きこり ……
あなたは、全てあなたの価値観で喋つてるだけです。
我々は、あなたと違って、人間なんです。
水に入ったら、ワカメなんです。

神 ……

きこり 少し話は変わりますが、

鉄と金の比重はご存知ですか。

神 比重。

きこり あなたには関係ないでしょうね。ノークラマですから。

神 何が言いたいんですか。

きこり はつきり言いますよ。

金は、鉄に比べて、同じ体積で、約2.5倍の重量があります。

銀ですら1.3倍です。

あなたが可愛がった正直なきこりが、あの日、突然、どれだけの荷物になったと思いませんか。

神 私がしたことが、逆に、彼を苦しめた。

きこり ええ。

神 馬鹿な。

きこり ぎつくり。

神 ……

きこり ご存知ですか。

ぎつくり腰。

古館 私、癖になってます。

きこり ぎつくり腰。

辛いですね。

古館 ええ。

本当に動けない。

ビキッ、あ、つて、そのまま動けなくなる。

きこり 神には分からないかもしれませんが、我々には、ごく一般的に起こりうる事です。

神 それがどうしたんですか。

きこり なったんですよ。

あなたが良かれと思って与えた、金の斧と銀の斧が、正直なきこりにぎつくり腰を起し
させたんですよ。

神 ……

きこり そりやそりですよ。

帰りの荷物が突然約5倍の重さになったんだ。

普通にあり得るでしょう。

神 私はただ、

きこり 更にです。

何故、金の斧なんです。

神 何がですか。

きこり 正直に答えたら、最初から与えるつもりだったんですよ。

神 ……

きこり 与えるつもりだったでしょう。

神 ……

きこり 神だから、嘘はつかないでしょう。

神 ……

きこり ……

神 そうですね。与えるつもりでした。

きこり だったら、斧である必要はないでしょう。

神 どうしてですか。

きこり そうでしょう。

斧である必要は、一つもないですよ。

古館 そうなんですか。

きこり そうでしょう。

金の斧が使えると思いますか。

古館 売ればいいんじゃないですか。

きこり それなら斧じゃなくても良いでしょ。

むしろ斧じゃない方が良いでしょ。

売る前提なら、延べ棒でしょう。

違いますか。

古館 確かに。

きこり 違いますか。

神 それは、どちらになっても良いように。

きこり 本気で言ってるんですか。

神 もちろん。

きこり 俺が一番言いたいのは、それ位の浅はかな考えで、人間に関わるのはやめて
いただきたい。つてことなんです。

神 私の何が浅はかたと言っただ。

きこり ほう。

神もむきになるんですね。

神 むきになどなつて無い。

きこり むきになつてるでしょ。

神 なつて無い。

きこり では言わせてもらいます。

金の斧で、木が切れますか。

古館 切れないんですか。

きこり 切れませんよ。

金は、柔らかいんですよ。

鉄の五分の一の硬さしかないんですよ。

そんな柔らかいもので、木が切れるわけないでしょ。

わかってましたよね。

神 ……そこまでは。

きこり へえ、神でも知らないことがあるんだ。

神 何だ、お前のその言い方は。
さつきから聞いてれば。

神に向かって失礼たる。
人間の分際で、神を何だと思ってる。
きこり じゃあ、あなたは人間を何だと思ってる。
神 ……
きこり ……
神 私はただ、正直な人間は、しっかりとそれ相応の幸福を得なければならない。そう思っただけだ。
その何が悪いと言うんだ。
私のしたこと何がいけないと言うんだ。
きこり もう一度聞きますよ。
あなたは人間を何だと思ってるんですか。
神 ……
きこり あなたにとって、人は自分より、下の存在。
違いますか。
神 ……
きこり 不完全で、酷く弱い存在。
違いますか。
神 ……
きこり ……
神 その通りだ。
お前たちは不完全だ。
お前たちは弱い。
神である私から見て、その何が悪い。
きこり 言いましたね。
神 何がだ。
きこり そんな不完全な存在である我々に対して、あなたは何をしたと言うんです。
神 言っただろ。
正直に、一生懸命生きてる人間は、それ相応の幸福を得なければならない。
そして、それを、神である私が与えてやった。
その何が悪い。
きこり 奢りですね。
神 ……
きこり 何故あなたが与える必要がある。
何故あなたに罰する権利がある。
神 あの正直なきこりは、黙ってれば、ずっと、しようもない、きこりを続けてただけだろ。
それを私が金の斧を与えたことで潤った、違うか。
そして、お前は嘘をついて、全てを失った。違うか。
お前が、今俺にしていることは、単なる逆恨みだ。
神に対する冒涇だ。
あれ以上の不幸を、今からお前に与えてやろうか。

きこり あなたは、単なるヘルメースじゃなかったのか。

神 …

きこり 最初に言いましたよね。

自分は、単なる自分でしかないよ。

でも、今のあなたは、完全に自分を神だと言ってる。

おかしくないですか。

神 …

きこり 俺が斧を失ったことは、俺の強欲が原因です。

それはしっかりと反省しました。

嘘をついた報いですよ。

俺はその後、自分を見つめ直して、

きこりは向いてない。

そこから一念発起して、株屋になって、金を儲けることができました。

しかし、正直なきこりは、腰を痛めたにも関わらず、きこりを続け、前に比べてクオリティの低いきこりになってしまいました。

当然収入も激減です。

神 斧は。

きこり 飾ってますよ。

神から貰った、ありがたい斧だつて、売りもせず飾ってますよ。

売れば金になって、少しは楽な生活を送ってたかもしれないですけどね。

正直者ですからね。

売りもせず、ただ飾って、相変わらず貧しい暮らしをしてますよ。

神 …

きこり 確かに俺は、あなたによつて、自分を見つめ直すことが出来て、今は、めっちゃ金を持つて、何不自由なく、裕福に暮らしてますよ。

ただ、俺は思います。

あなたがしたことは、単にあなたの独りよがりです。

神 そんなことはない。

きこり 認める。

神 …

きこり あなた自身が言つてたでしょ。

人間は、不完全で、弱い存在だつて。

そう。誰もがそうなんだよ。

それが人間なんだよ。

金の斧の輝きに魅せられて、売ることもできないのが人間なんだよ。

神 …

きこり …

あなたたち、ノワカメは、人の生活に干渉しちゃいけないんだ。

あなたたちは、ノワカメなんだよ。

そして、俺たちはワカメなんだよ。

神 ……
あなたが、あの時すべきことは、単に沈んだ斧を返してやることだけだったんだ。

きこり ……
皮肉な話だけじ

神 ……
あなたは、あの正直なきこりじゃなく、逆に俺を救ってしまっただよ。

きこり ……
その点では、俺はあなたを感謝してますよ。
ただ、今後、軽はずみな、戯れはやめた方が良いでしょう。

神 ……
戯れ。

きこり ……
戯れでしょう。

きこり ……
俺がしたことは、…単なる戯れだったのか。

きこり ……
神がどれ位偉いかは知りませんが、
あなたがしたことの結果は、あなたが思ったことじゃないことは分かったでしょう。
それは、あなた自身も不完全であるということ。
違いますか。

神 ……
……
……
……

きこり ……

神 ……
お前らは、俺を崇め、感謝してれば良いんだ。
俺がお前らに与えるものを、ただ黙って、受け入れて、進んでいけば良いんだ。

きこり ……
与える必要が無いと言っている。

神 ……

きこり ……
我々を見下しているような存在のものが、我々に何を与えられるんですか。
あなたたちがすることは違っでしよ。
与えるのであれば、それは物じゃないはずでしよ。
正しい心。
同じ場所で、同じ景色で、同じ温度で感じる、正しい心でしよ。

神 ……

きこり ……
俺は、あなたに感謝してますよ。
ただ、あなたは間違ってる。
俺はそう思います。

神 ……

きこり ……
さつき、初めて、正直なきこりの現状を知ったみたいですが、
何故、見守ってやらなかったんですか。

神 ……
……
……
そういう所でしょう。

きこり ……

きこり、退場
神、膝から崩れ落ちる

古館 きこりさん。
きこりさん。
いや、株屋さん。株屋さん。
くルメースさん、大丈夫ですか。

神 ……
古館 意外な展開になりました。
私も動揺を隠せません。
まさかこのようなことになるなんて。

音楽

古館 どうやら時間の様です。
今日のこの対談で、皆さまは何を感じましたか。
とりあえず私は、帰って寝て、それからもう一度、今この場で繰り広げられた会話を考
え直してみようと思います。
時刻は、間もなく午前4時です。
みなさん、眠いでしょうけど、今日の仕事、頑張ってください。
月曜から早起き、お届けしたのは、私、古館市子でした。
また来週。

15

照明、暗転
音楽、ボリューム上がる
照明、全体

礼

了